



企業の国際化と世界市場の統一性

黒田インターナショナル

黒田 毅

世界市場の統一は、今後その絶対的なプレゼンスにおいて、世界市場における新たな競争と企業の買収を、その先端性と優位性、資本力において与えると考える。

これらは巨大企業が資本と技術において市場を占有することが考えられる。国家における安全保障は、明確な国内産業の維持構築をその先端性ととも要求される。

これらは資本力とプレゼンス、技術力が、そのソフトとハード資産とともに、コアコンピタンスを永続するのである。これら富の創造は必ず富の占有を生むのである。

これは市場を世界においても、その製品とサービスにおける優位性は、絶対性を有するのである。また自由貿易協定など、市場の統一化は、製品と価格における需要が、他をはるかに勝るものとして、それら企業が優位性を与えるのである。

これらは現実において宇宙産業を有するのであり、宇宙への参加は、新しい可能性を限りなく創造するのである。

これらは世界が有する現実であり、それは未来を有するのである。これらは、真実において予測を得ないため、現状への対処と対策は、必ず要求されるのである。

これは企業が自己の安定性を得ることは、技術基盤と企業の製品ノウハウの保有、生産の世界先端基準における転換、企業運営基準をその世界先端へ移行することにおいて新しい企業環境を整備しなくてはならない。

これらは自由経済システムにおける企業が一切の自由を有することにおける挑戦と参加なのであり、これら時代性への到達は、企業がその安定利益を有することにおいて、企業という存在が、それら勝者としての自己を行うことができるのである。